

誰でも出来る簡単特許調査方法 補足資料

2011年8月

独立行政法人科学技術振興機構
研究振興支援業務室 高橋 弘

1

目次

<ul style="list-style-type: none">・はじめに・特許調査の重要性・特許調査の種類と調査方法・有料特許検索システムの利点・日本特許出願手続きの流れ・日本特許法の重要な改正・外国特許の取得方法・欧州特許制度・米国特許制度・WIPO・Patent family	<ul style="list-style-type: none">・国際特許分類 (IPC)・IPC8 版 アドバンスレベルとコアレベル・特許検索の注意点 (検索項目、検索手順)・特許検索の注意点 (検索フィールド)・キーワード検索例・特許検索の注意点 (特許分類による検索)・PMGS での IPC 等の意味照会・PMGS でのキーワードからの IPC 等の照会・特許分類による検索例
---	--

2

はじめに

「誰でも出来る簡単特許調査方法」は、大学の研究室におられる先生方、または研究支援の方々が、簡単な特許情報であれば、大学の知的財産本部やTLOにお願いしなくとも、ご自分のパソコンで検索して、特許情報を無料で気軽に入手できるように、日米欧の特許庁とWIPOにおける簡単な特許検索方法を分かり易く提供することを目的に作成しました。

無料の検索システムですから、当然、限界があり、数百件を越える本格的な先行技術調査には、有料の特許検索システムをご利用されることをお勧めしますが、両者をうまく使い分けて、有効で簡便な特許調査を行って頂ければ幸いです。

日米欧の特許庁は大変裕福なので、度々、ホームページの変更を行いますので、皆様が実際に検索する際には、既に画面が変更されている可能性があります。

しかし、画面が変更される前に、一度でもパソコンで本書をなぞって頂いておくと、何が出来るかと、意外に簡単なことが分かり、画面が変更されても、楽に対応できますので、なるべく早い時期に、一度、本書に従って調査方法をなぞって見て下さい。

「補足資料」は、特許や検索に詳しくない方のための参考資料です。必要に応じて、ご参照下さい。

本資料が少しでも、皆様の研究のお役に立てば、大変嬉しいことです。

3

特許調査の重要性

(1)発明の認識と研究方針の確認手段

研究を進める上で、目的とする研究成果が、新規なものか、それとも、既に他人が成し遂げたものなのかを確認するには、技術文献や特許(公開)公報を調査する必要があります。特許(公開)公報に記載されておらず、また開示内容からは容易に類推されない研究成果であれば、特許性があり、得られた特許を企業へライセンスすることにより、新たな研究資金獲得と企業化への道が開けるので、一刻も早く特許を出願するように研究を加速すべきです。逆に、同一の研究成果や類似の研究成果が特許公報に記載されていた場合は、研究方針を検討し直すべきでしょう。

(2)特許(公開)公報は重要な情報源

他者の開発動向や世の中のニーズを知ることができます。また、一般に特許には、技術文献よりも、広い権利範囲や用途が記載されていますので、注意が必要です。

(3)特許侵害の回避手段

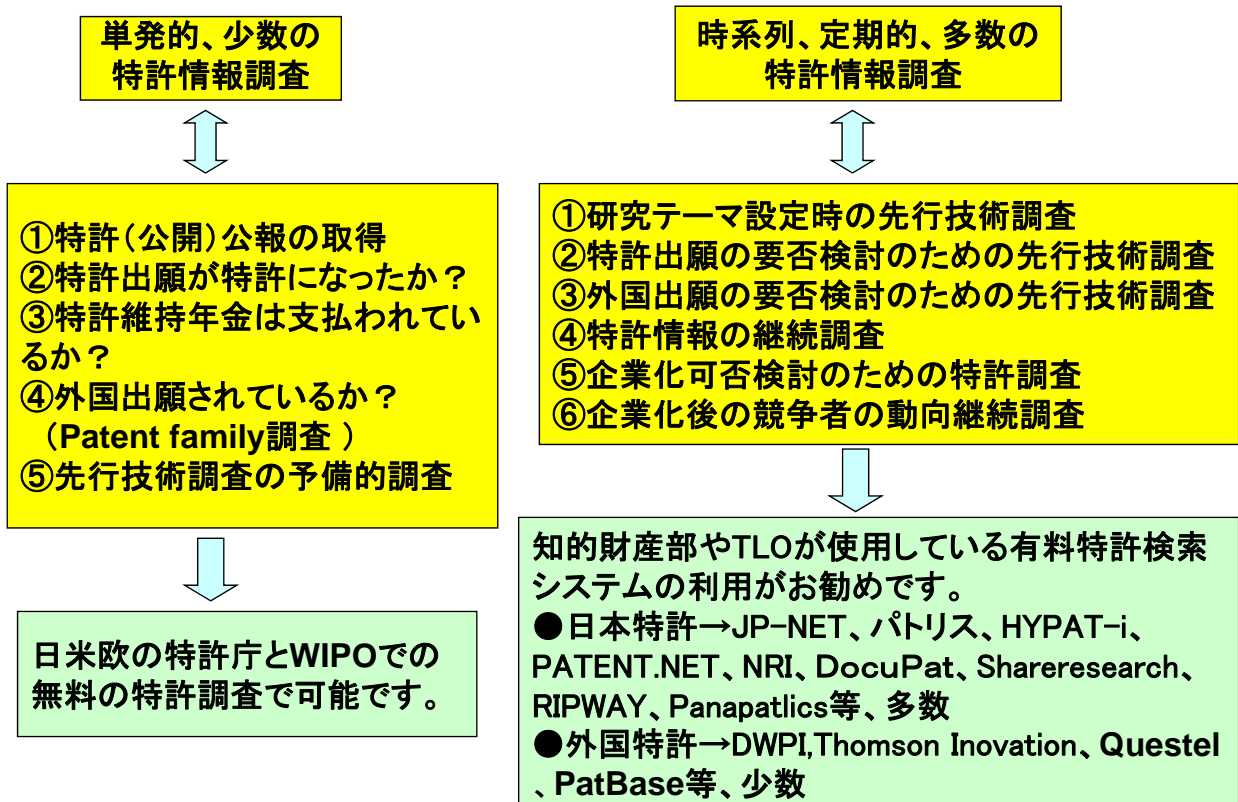
他人の特許を侵害すると、損害賠償等により、莫大な損害が生じる危険があります。そのような危険を回避するためにも、特許調査は必要です。

(4)障害特許の無効化資料

障害特許が見出された場合でも、その障害特許より前に公開された公報に障害特許を潰せる記載があることがあり、障害特許の無効化にも特許調査は重要です。

4

特許調査の種類と調査方法



5

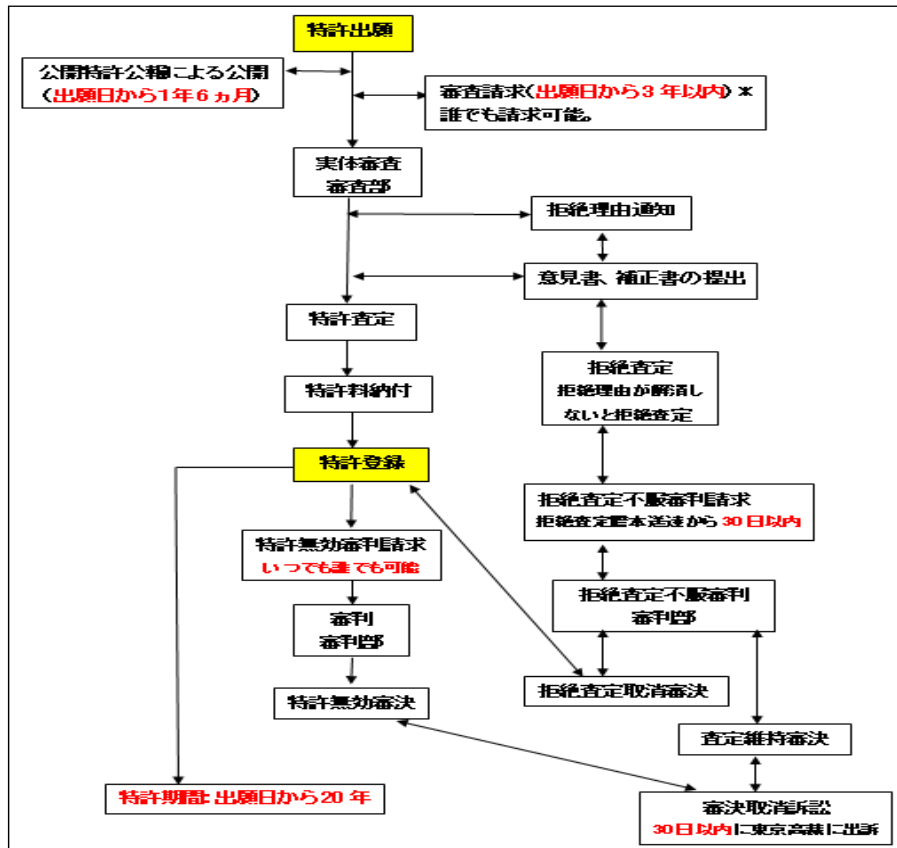
有料特許検索システムの利点

有料の特許検索システムは、互いに競合してサービス向上に努めていますので、各システムによって特徴がありますが、下記の利点は、一般的なものです。

- ①検索式や検索結果の集合を保存できるので、検索条件を変えた検索結果の集合との差分の集合の内容を容易に確認でき、検索式を修正しやすい。
- ②大量の特許公報や特許情報を一度にダウンロード可能。
- ③特許公報中の欲しい情報を、要約付きで一度に大量にエクセル形式でダウンロード可能。
- ④検索結果の解析(グラフ化、出願人分析、IPC分析、発明者分析、引用解析)。
- ⑤検索に使用したキーワードの出現頻度分析により、関連性の高い特許公報から順に表示(関連分析or頻度分析)。
- ⑥検索式をサーバ上に保存して、定期的に自動検索を行い、検索結果を登録した複数のメールアドレスに自動送付する(定期検索、SDI機能)。
- ⑦検索式をサーバ上に保存して、法的状況に変化があった場合に、複数のメールアドレスに自動送信する(アラート機能)。
- ⑧「概念検索」(特許請求項の文章をそのまま貼り付ければ検索可能)。
- ⑨検索結果のpatentマップ化機能。

6

日本特許出願手続きの流れ



7

日本特許法の重要な改正

① **審査請求期間の短縮**。以前の特許出願の**審査請求期間**は、出願日から7年でしたが、**平成13年(2001年)10月1日以降の出願から出願日から3年に短縮**されました。

② **異議申立制度の廃止**。平成8年(1996年)1月1日に**出願公告制度が廃止**され、特許公告公報が無くなると共に、特許査定後の特許公報が発行され、特許付与後に異議申立を行う特許付与後異議制度になりました。更に平成16年(2004年)1月1日から、**異議申立制度が廃止**され、特許後、いつでも誰でも請求可能な**無効審判制度のみ**になりました。

③ **補正の制限**。最初の拒絶理由通知を受ける前は、いつでも明細書の補正が可能ですが、最初の拒絶理由通知を受けた後は、最初の拒絶理由通知(1回目)と最後の拒絶理由通知(2回目)の2回しか補正が出来ず、かつ、最後の拒絶理由通知(2回目)を受けた後は、補正できる範囲が限定されます。2回の補正で許可されないと、拒絶査定となり、拒絶査定不服審判を請求せねばなりませんので、明らかに過大であるクレームは避け、2回の審査で特許査定が得られるように注意が必要です。

④ **開示要件の強化**。米国特許法では、出願人が出願時に最適と信ずる実施態様を開示していないと特許無効事由になります(best mode違反)→**2011年9月に米国特許法が改正され、米国特許の無効事由ではなくなったため、現在以上の強化はなさそうです。**

⑤ **新規性喪失の例外適用規定の改正(特許出願前にした学会発表等の救済規定)**

特定の学会、博覧会での発表に限られていましたが、平成23年6月の特許法改正で、その制限がなくなりました。(施行日は、来年4月からの予定)

8

外国特許の取得方法

● **特許は各国毎の権利(特許独立の原則)**ですから、重要な発明は各国の特許庁に各々出願し、審査を受けて登録する必要があります。

● 各国の特許庁への特許出願・審査には、各国の言語に翻訳された特許明細書が必要です。このため翻訳等に時間がかかり、特許出願が遅くなってしまう問題があります。

● **パリ条約経由の外国出願**

パリ条約(1883年)の締結により、加盟国の国民は、加盟国での内国民待遇が保証され、**日本出願日から12ヵ月以内**であれば、最初の日本出願日に外国で出願したのと同じ優先日が与えられます。日本特許庁の優先権証明書を付けて、各国の特許庁に特許出願します。

● **PCT経由の外国出願**

パリ条約経由の外国出願では、各国の特許庁に各々特許出願しなければならない不便さがあります。そのため、特許協力条約(PCT、Patent Cooperation Treaty、1970年)が締結され、決められた書き方で作成した日本語の特許願、特許明細書を日本特許庁に**日本出願日から12ヵ月以内**に出願すれば、全てのPCT加盟国でパリ条約経由の外国出願と同様に、先の日本出願日を優先日とする特許出願ができます。実体審査を受けるためには、**優先日から30ヵ月以内**に**当該国の言語に翻訳した特許明細書、審査料を当該国の特許庁に提出**する必要があります。

JSTは大学支援の一環として、大学発の重要発明のPCT出願を支援しています。

PCT出願では、日本特許庁で行う国際調査報告を受けとることが出来るため、各国での実体審査を受ける前に特許性が判明して便利です。また優先日から30ヵ月まで、翻訳文を出さなくて済むので、発明の評価、出願国選定の時間が稼げます。

9

欧州特許制度

● 欧州特許庁(European Patent Office、EPO)

欧州諸国の特許の出願から審査までを統一的行う目的で締結された欧州特許条約(European Patent Convention、1973年)に基づいて設立された特許庁です。

● 欧州特許出願

出願人は、欧州特許庁に対して、特許取得を望む国を指定した出願を行うことにより、一回の出願手続・審査で欧州指定国における特許を取得することができます。

欧州特許庁で審査され、特許性が認められた出願は、指定国の言語に翻訳した特許明細書を指定国の特許庁に提出し、登録料を納付して特許登録します。

● 異議申立制度

特許公示の9ヵ月以内に、誰でも欧州特許の特許性に関して異議申立を行うことが出来ます。異議審査は、一方が希望すれば口頭手続(Oral hearing)により欧州特許庁で行われます。

● 審判制度

異議決定から2ヵ月以内に、決定に対する審判請求をすることができます。欧州特許庁での審判合議体による審判は、通常、口頭手続により行われます。

● 審判決定が欧州特許庁での最終判断で、出訴方法はありません。

各国特許庁に移管された後の特許の有効性については、各国の裁判所で争うしかないので、欧州特許庁での異議申立、審判請求は非常に重要です。

10

米国特許制度

●先発明主義:

主要国の中で唯一先発明主義(インターフェアレンス制度、実験ノートの重要性)。

→2011年9月16日の法改正により、「発明日」から「出願日」へ変更→先願主義へ移行しました。

●公開制度への転換:

2000年11月29日以降の出願は、優先日から18ヵ月で公開されます。

●特許期間:

以前は登録から17年でしたが、1995年6月8日以降の出願は、出願日から20年で終了します。但し、1995年6月8日時点で生きていた特許は、登録から17年or出願日から20年のいずれか長い特許期間となりますので、注意が必要です。

●情報開示義務(Duty of Disclosure):

特許出願に関与した者が、特許の審査期間中に知った重要な先行技術をUSPTOに提出しなかった場合は、特許されても、権利行使不能となります。→情報開示申告書(IDS, Information Disclosure Statement)により、必ず提出する必要があります。

●ベストモード違反(Best Mode Requirement):

特許出願時に出願人が知っている最良と思われる実施形態(ベストモード)を明細書に記載しなかったことが分かった場合は、特許の無効事由となります。→上記の法改正で無効事由から外れました。

●仮出願(Provisional Application):

1995年から施行。1年以内に本出願に移行しないと自動的に放棄となる。クレームを記載せずに出願できますが、発明内容はしっかり記載する必要があります。日本語でも可能で、仮出願日が102条(e)項の基準日(後願排除効果)になりますが、特許期間の基準の特許出願日は本出願の日になります。また、外国特許出願の優先権を主張しての仮出願はできません。

11

WIPO

●WIPO(World Intellectual Property Organization、世界知的所有権機構)

世界的な知的財産権の保護を促進することを目的に、1967年のWIPO条約に基づいて、1970年(本部はジュネーブ)に設立された国際連合の専門機関で、EPOやUSPTOのような特許庁ではありません。

●WIPOはPCT(Patent Cooperation Treaty、特許協力条約)国際出願の事務局、IPCの事務局等の特許関連業務の他、意匠、商標、著作権等の知的財産権に関する業務も行っています。

12

Patent family (1)

Patent familyとは、

簡単には、同じ優先権を有する複数の国の特許(出願)の集まりを意味します。しかし、優先権が完全に一致するものだけにするか、1つでも同じ優先権が含まれているものまでをPatent familyにするかの定義の違いにより、下記の3種類のPatent familyが存在します。

①Espacenet patent family

優先権が完全に一致するもの(equivalents)、又は同じ優先権の組み合わせ。

②Extended INPADOC Patent family

1つでも同じ優先権を有するもの、又はパリ条約等の優先権がない同じ特許(出願)を含む。

③Thomson scientific WPI Patent family

優先権のみの判断でなく、優先権が記載されていなくとも、内容から同じ発明はPatent familyに含む。

Patent family (2)

Definition 1: The simple patent family

All documents having exactly the same priority or combination of priorities belong to one patent family.

In this case, document D1 is the only document in family P1, D2 and D3 belong to family P1-P2, D4 belongs to family P2-P3, and D5 to family P3.

Document D1	Priority P1			FAMILY P1
Document D2	Priority P1	Priority P2		FAMILY P1-P2
Document D3	Priority P1	Priority P2		FAMILY P1-P2
Document D4		Priority P2	Priority P3	FAMILY P2- P3
Document D5			Priority P3	FAMILY P3

If all the priorities of two documents are the same, they are referred to as "equivalents". This definition is currently used in [Espacenet](#) for listing the documents under "also published as" on the bibliographic data view.

Definition 2:

All the documents having at least one common priority belong to the same patent family.

In this case, documents D1, D2 and D3 belong to family P1, documents D2, D3 and D4 to family P2, and documents D4 and D5 to family P3.

	FAMILY P1	FAMILY P2	FAMILY P3
Document D1	Priority P1		
Document D2	Priority P1	Priority P2	
Document D3	Priority P1	Priority P2	
Document D4		Priority P2	Priority P3
Document D5			Priority P3

The family (or list of documents) according to this definition can be found on [Espacenet](#) by entering a priority number in the appropriate field on the search form. The family is then displayed in the results list (hit list).

Read [more information on patent families in Espacenet](#).

Patent family (3)

Definition 3:

All the documents directly or indirectly linked via a priority document belong to one patent family.

In this case, documents D1 to D5 belong to the same patent family, P1.

FAMILY P1

Document D1	Priority P1		
Document D2	Priority P1	Priority P2	
Document D3	Priority P1	Priority P2	
Document D4		Priority P2	Priority P3
Document D5			Priority P3

Definition 3 is a much broader definition of a patent family and can be described as an "extended" (INPADOC) patent family. The "extended" (INPADOC) family takes the domestic application numbers as additional connecting elements and even includes documents having the same scope but lacking a common priority (e.g. if the country concerned has not ratified the Paris Convention, or if the application was filed too late to claim the priority). This type of patent family is of special interest to patent attorneys and patent departments in industry.

[Read more about patent families in the EPO's raw data resources \(INPADOC\).](#)

[Read about patent families in the Thomson Scientific World Patents Index \(WPI\).](#)

国際特許分類 (IPC, International Patent Classification)

・国際特許分類 (IPC) は、各国の特許庁が、他国の特許公報も容易に検索出来るようにするために、国際的に統一して、特許の内容を表す特許分類を特許公報等に付与することを決めたもので、特許庁の審査官、出願人、その他の利用者が特許を検索するための有効なサーチツールとして利用されています。

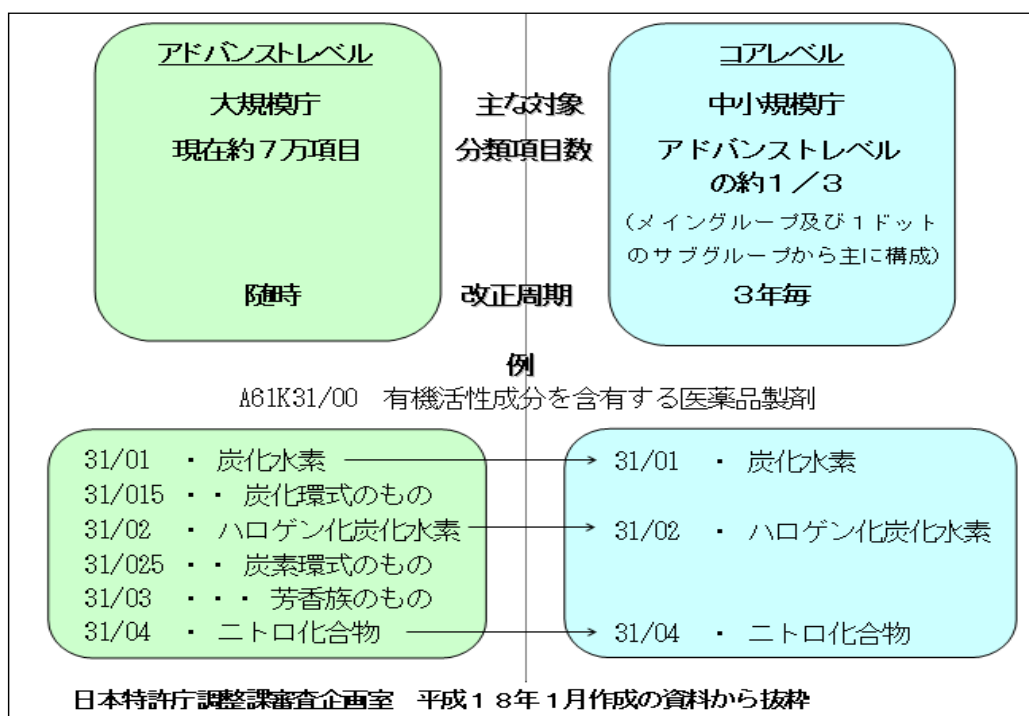
・IPCは、「国際特許分類に関するストラスブール協定」(1971年調印、1975年10月7日発効)により、条約加盟国(世界の全ての主要国)が発行する特許公報等に付与することが義務付けられています。

・IPCは、技術革新や特許数増大等に対処するために、WIPOにおいて、加盟各国からの提案に基づいて改定案を検討し、5年に一度の間隔で版改正が行われて来ました。

・しかし、膨大な特許出願数を持つ大規模特許庁(日米欧)では、大まかすぎて実質的な検索に不便であり、特許出願数の少ない小規模特許庁(途上国)では細かすぎて分類付与負担が大きい問題がありました。また、5年に一度の版改正では迅速化する技術の進展に適切に対応した検索が困難でした。

・このため、日本特許庁では、IPCの他に、IPCに基づき、より詳細に分類されたFIやFタームを特許公報等に付与して検索・審査に使用しており、欧州特許庁では、同様にIPCに基づき、より詳細に分類されたECLAを、米国特許庁では、独自のUS Classを特許公報等に付与して、検索・審査に用いて来ました。従来、IPCは2000年1月1日に発効したIPC第7版を以て終了し、2006年のIPC第8版から、アドバンスレベルとコアレベルの2種類のIPC付与方法となりました。

IPC8版 アドバンスレベルとコアレベル



17

特許検索の注意点(検索項目、検索手順)

最も重要なことは、検索対象の技術を良く理解して検索することで、検索者だけでなく、研究者もしくは研究者と検索者との共同検索の意義はそこにあります。

1. キーワードによる検索

●検索項目

発明を構成するキーワードの集合を、下記の検索項目に整理して作成します。

- ① 特許請求範囲の構成要件・手段
- ② ①の下位概念(具体的な詳しい構成)
- ③ 機能、作用、目的、効果

●検索手順

1. ①と②による検索

まず発明を構成する①と②で検索します。

- 同義語、類似語を出来る限りORでまとめます。
- 必要に応じて、考えられる上位概念ORで加えて検索します。
- 異なる種類の構成要件と他の構成要件をANDで掛け合わせますが、構成要件は限定条件なので、多くするほど、検索結果が限定されますので、ヒット件数を見ながら、構成要件を増やして行きます。

- ①と②の検索では、ヒット件数が多すぎる場合や、特に③が重要な場合は、③の機能、作用、目的、効果を表すキーワードを加えて、検索します。

18

特許検索の注意点(検索フィールド)

●検索フィールド

検索フィールド(発明の名称、特許請求の範囲、要約、前記2or3種のセット、全文)が選択できる場合は、調査目的に応じて、検索フィールドを使い分けます。

1. 「特許請求の範囲」

実施予定の技術や研究が、他人の特許を侵害する恐れがあるかを調査する特許侵害調査では、特許公報の特許請求範囲の記載が重要ですので、検索フィールドは特許請求範囲に限定できます。なお、「特許請求の範囲」には、通常、「機能、作用、目的、効果」は記載しないので、それらのキーワードは検索に使用しません。

2. 「発明の名称+特許請求の範囲+要約」or「特許請求の範囲+要約」

目的とする研究成果が、従来、知られていない新規なものか、それとも、既に他人が成し遂げたものなのかを確認するためには、特許公開公報の全文検索が好ましいですが、ヒット件数が多くなりますので、通常、検索フィールド「発明の名称+特許請求の範囲+要約」or「特許請求の範囲+要約」で検索を行います。

3. 「全文」

障害特許を潰すための徹底した先行技術調査では、実施例や詳細な説明に記載されている語句であっても重要ですので、ヒット件数は増えますが、検索フィールドは「全文」で行います。

19

キーワード検索例

(例)IPDLでの検索例

特表2010-539127「節足動物唾液タンパク質画分に由来する少なくとも1個のエピトープを認識可能な免疫系細胞を脊椎動物に産生させる、脊椎動物において免疫原性を有するポリペプチドを1個以上含むポリペプチド組成物、ワクチン」の関連特許の検索

①

(節足動物 マラリア フィラリア フイラリア トリパノソーマ デング) AND (ポリペプチド)
AND (医薬品 薬剤 ワクチン)
→ヒット数152件

②

(節足動物 マラリア フィラリア フイラリア トリパノソーマ デング) AND (ポリペプチド)
AND (医薬品 薬剤 ワクチン) AND (エピトープ)
→ヒット数38件

③

(節足動物 マラリア フィラリアフイラリア トリパノソーマ デング) AND (ポリペプチド)
AND (医薬品 薬剤 ワクチン) AND (唾液 だ液)
→ヒット数7件

構成要件を増減、変更させて検索し、検索内容を確認します。

なお、検索システムによって異なりますが、日本語検索の場合は、漢字のひらがな表記や、カタカナ表記、長音(エーテル、エーテル)、撥音(バック or バツク)の入力に注意が必要です。

20

特許検索の注意点(特許分類による検索)

2. 特許分類による検索

検索のための特許分類(IPC、FI、Fターム)を選定するには、以下の方法があります。

①キーワード検索で見つけた関連公報のIPC、FI、Fタームの中から出現頻度の高いものを選んで、特許庁の Patent マップ ガイダンス (PMGS) で意味を調べ、適切なものを選択して検索します。

②特許庁の Patent マップ ガイダンス を用いて IPC、FI、Fターム を選定します。IPC、FI は、階層構造になっているので、ヒット件数等の状況に応じて、下位分類への絞り込みを行います。

③トムソン・イノベーションの検索結果では、出現頻度順に IPC が表示され、意味も表示されますので、適切な IPC を選定します。

21

特許検索の注意点(特許分類による検索)

特表2010-539127 「節足動物唾液タンパク質画分に由来する少なくとも1個のエピトープを認識可能な免疫系細胞を脊椎動物に産生させる、脊椎動物において免疫原性を有するポリペプチドを1個以上含むポリペプチド組成物、ワクチン」に記載されたIPC、FI、Fタームの例

【公表番号】

特表2010-539127

【公表日】平成22年12月16日(2010. 12. 16)

【発明の名称】ペプチド配列及びペプチド組成物

【国際特許分類】

A61K 39/00 (2006.01)
C07K 14/435 (2006.01)
C12N 15/09 (2006.01)
A61P 33/06 (2006.01)
A61P 33/02 (2006.01)
A61P 31/04 (2006.01)
A61K 48/00 (2006.01)
C12N 7/00 (2006.01)

【FI】

A61K 39/00 H
C07K 14/435 ZNA
C12N 15/00 A
A61P 33/06
A61P 33/02
A61P 31/04
A61P 33/02 171
A61K 48/00
C12N 7/00

【Fターム(参考)】

4B024 AA01 BA31
4B065 AA90X AC14 BB19 CA43 CA44
4C084 AA02 AA13 MA17 MA23 MA31 MA35 MA52 MA59 MA60 MA66 NA14 ZB352 ZB382
4C085 AA03 BA99 BB11 CC08 CC32 DD62 EE01 EE03 FF24
4H045 AA11 AA20 AA30 BA10 CA51 DA86 EA22 EA31 FA34 FA59

IPCとFIは、殆ど同じと分かります。
IPCの意味を Patent マップ ガイダンス (PMGS) で調べて、適切なものを検索に使用します。

22

PMGSでのIPC等の意味照会(1)

パテントマップガイダンス (PMGS)

PMGSのURL
<http://www.5.ipdl.inpit.go.jp/pmgsl/pmgsl/pmgsl>

[メニュー](#) [ニュース](#) [ヘルプ](#)

[FI改正情報](#) [テーマ改廃情報](#) [テーマコード表](#) [IPC改正表](#) [IPC指針](#)

照会 キーワード検索 キャッチワードインデックス検索 コンコーダンス検索

●照会
照会画面項目を選択後、各サービス名をクリックするか、直接コード入力ボックスにコードを入力して照会ボタンをクリックして下さい。

直接コード入力ボックス

●FI照会

入力例:A61K、A61K6、A61K.ADB、C08L27/06、A61K7/46@A、A61K7/46.315@A

●Fターム照会

入力例:5B、5B001

●IPC照会

入力例:A61K39/00

照会

FI FIハンドブック

Fタームリスト Fターム解説

第8版(日付指定) 20110302

第7版 英語版(第7版)

第6版 第5版 第4版

A61K 39/00のスペースを詰めて、A61K39/00として入力して照会。

入力例:A61K、A61K6、C08L27/06、A61K6/083.500

選択された表示種別はFI照会、IPC照会時のメイングループより下の階層を表示するときに有効となります。

表示種別 一覧表示 ターゲット表示 同階層表示

●キーワード検索:
照会画面項目を選択後、キーワード、サーチ範囲を入力し(いずれか一方でも可)、検索ボタンをクリックして下さい。詳細な入力方法はヘルプを参照して下さい。

照会画面

キーワード

入力例: 農業、機械*金属、土壌*(水+液状)

AND

サーチ範囲
(分類コード、
テーマコード)

入力例: A01B、2B+5B001、A01N25+B01B

照会

FI

FIハンドブック

IPC第8版(日付指定) 20110302

Fタームリスト

Fターム解説

●キャッチワードインデックス(IPC第6版)検索:
キャッチワード、サーチ範囲を入力し(キャッチワードのみ必須)、検索ボタンをクリックして下さい。詳細な入力方法はヘルプを参照して下さい。

キャッチワード

入力例: 農業、機械*金属、土壌*(水+液状)

AND

サーチ範囲
(分類コード)

入力例: A、A01、A01B、A01B1、A01N25+B01B

検索

●FI-IPCコンコーダンス検索:

PMGSでのIPC等の意味照会(2)

[メニュー](#) [ヘルプ](#)

先頭画面 戻る 進む 前メイングループ 次メイングループ メイングループ選択

* * IPC (第8版) (一覧表示) * *

2011.03.02の時点で有効なIPCを表示します。

この画面は、メイングループA61K39/00内の「IPC」を全て表示しています。(CC:コンコーダンス)

* 表示種別を変更する場合は表示種別を選択後、サブグループをクリックして下さい。表示種別の違いはヘルプを参照して下さい *

表示種別 一覧表示 ターゲット表示 同階層表示

- [39/00](#) (2006.01) 抗原または抗体を含む医薬品製剤(免疫分析用物質G01N33/63) [2]
- [39/002](#) (2006.01) 原生動物抗原 [3]
- [39/005](#) (2006.01) トリパノゾーマ抗原 [3]
- [39/008](#) (2006.01) リーシュマニア抗原 [3]
- [39/012](#) (2006.01) コクシジウム抗原 [3]
- [39/015](#) (2006.01) 住胞子虫抗原、例、プラズモジウム抗原 [3]
- [39/018](#) (2006.01) パベシア抗原、例、タイレリア抗原 [3]
- [39/02](#) (2006.01) バクテリアの抗原 [2]
- [39/04](#) (2006.01) ミコバクテリウム属、例、結核菌 [2, 3]
- [39/05](#) (2006.01) コリネバクテリウム属、プロピオンバクテリウム属 [3]
- [39/07](#) (2006.01) 桿菌 [3]
- [39/08](#) (2006.01) クロストリジウム属、例、破傷風菌 [2]
- [39/085](#) (2006.01) ブドウ球菌 [3]
- [39/09](#) (2006.01) 連鎖球菌 [3]
- [39/095](#) (2006.01) ナイゼリア属 [3]
- [39/10](#) (2006.01) プルセラ属、ボルデテラ属、例、百日咳菌 [2, 3]
- [39/102](#) (2006.01) パスツレラ属、ヘモフィラス属 [3]
- [39/104](#) (2006.01) シュードモナス属 [3]
- [39/106](#) (2006.01) ビブリオ;カビロバクター [3]
- [39/108](#) (2006.01) エシエリビア属、クレプシエラ属 [3]
- [39/112](#) (2006.01) サルモネラ属;シグラ属 [3]
- [39/114](#) (2006.01) フラボバクテリウム属 [3]
- [39/116](#) (2006.01) 多価バクテリア抗原 [3]
- [39/118](#) (2006.01) クラミジア、例、トラコーマクラミジアまたはオウム病クラミジア [3]
- [39/12](#) (2006.01) ウイルス抗原 [2]
- [39/125](#) (2006.01) ピコornaウイルス科、例、カリシウイルス [3]
- [39/13](#) (2006.01) ポリオウイルス [3]
- [39/135](#) (2006.01) 口蹄疫ウイルス [3]
- [39/145](#) (2006.01) オルソミクソウイルス科、例、インフルエンザウイルス [3]
- [39/15](#) (2006.01) レオウイルス科、例、子牛の下痢ウイルス [3]
- [39/155](#) (2006.01) パラミクソウイルス科、例、パラインフルエンザウイルス [3]
- [39/165](#) (2006.01) ムンプスまたは麻疹ウイルス [3]
- [39/17](#) (2006.01) ニューカッスル病ウイルス [3]
- [39/175](#) (2006.01) 犬のジステンパーウイルス [3]
- [39/187](#) (2006.01) 豚コレラウイルス [3]
- [39/193](#) (2006.01) 馬の脳脊髄炎ウイルス [3]

(注) / (索引) CC

A61K 39/00の意味が表示されます。他のIPC、FIの意味も同様に調べます。

A61P33/の意味を表示しています。

[メニュー](#) [ヘルプ](#)

先頭画面 戻る 進む 前メイングループ 次メイングループ メイングループ選択

* * IPC (第8版) (一覧表示) * *

2011.03.02の時点で有効なIPCを表示します。

この画面は、メイングループA61P33/内の「IPC」を全て表示しています。(CC:コンコーダンス)

* 表示種別を変更する場合は表示種別を選択後、サブグループをクリックして下さい。表示種別の違いはヘルプを参照して下さい *

表示種別 一覧表示 ターゲット表示 同階層表示

- [33/00](#) (2006.01) 抗寄生虫剤 [7]
- [33/02](#) (2006.01) 抗プロトゾア、例、リーシュマニア、トリコモナス、トキソプラズマ [7]
- [33/04](#) (2006.01) 殺アメーバ剤 [7]
- [33/06](#) (2006.01) 抗マラリア剤 [7]
- [33/08](#) (2006.01) カリニ肺炎のためのもの [7]
- [33/10](#) (2006.01) 駆虫剤 [7]
- [33/12](#) (2006.01) 住血吸虫 [7]
- [33/14](#) (2006.01) 体外寄生虫、例、殺疥癬虫剤 [7]

(注) / (索引) CC

PMGSでのキーワードからのIPC等の照会(1)

パテントマップガイダンス (PMGS)

[メニュー](#) [ニュース](#) [ヘルプ](#)
[FI改正情報](#) [テーマ改廃情報](#) [テーマコード表](#) [IPC改正表](#) [IPC指針](#)
照会 キーワード検索 キャッチワードインデックス検索 コンコーダンス検索

●照会
照会画面項目を選択後、各サービス名をクリックするか、直接コード入力ボックスにコードを入力して照会ボタンをクリックして下さい。

直接コード入力ボックス 照会画面

- FI照会 照会 FI FIハンドブック
- Fターム照会 照会 Fタームリスト Fターム解説
- IPC照会 照会 第8版(日付指定) [20110302] 第7版 英語版(第7版) 第6版 第5版

入力例 A61K, A61K6, C08L27/06, A61K7/46@A, A61K7/46.315@A

入力例 5B, 5B001

入力例 A61K, A61K6, C08L27/06, A61K6/083.500

選択された表示種別はF照会、IPC照会時のメイングループより下の階層を表示するときに有効です。

表示種別 一覧表示 ターゲット表示 同階層表示

●キーワード検索:
照会画面項目を選択後、キーワード、サーチ範囲を入力し(いずれか一方でも可)、検索ボタンをクリックして下さい。詳細な入力方法はヘルプを参照して下さい。

照会画面

キーワード FI FIハンドブック

入力例 農業、機械*金属、土壌*(水+液状) IPC第8版(日付指定) [20110302]

AND

サーチ範囲 検索

(分類コード、 Fタームリスト

テーマコード) Fターム解説

入力例 A01B, 2B+5B001, A01N25+B01B

●キャッチワードインデックス(IPC第6版)検索:
キャッチワード、サーチ範囲を入力し(キャッチワードのみ必須)、検索ボタンをクリックして下さい。詳細な入力方法はヘルプを参照して下さい。

照会画面

キャッチワード

入力例 農業、機械*金属、土壌*(水+液状)

AND

サーチ範囲 検索

(分類コード) 入力例 A, A01, A01B, A01B1, A01N25+B01B

●FI-IPCコンコーダンス検索:

キーワードを入力して、関連するIPC、FIを探すと出てきますが、中間一致検索なので、長い単語はヒットしないので、注意が必要です。

25

PMGSでのキーワードからのIPC等の照会(2)

[メニュー](#) [ヘルプ](#) [先頭画面](#) [戻る](#) [進む](#)

※※ IPC(第8版)検索 ※※
2011.03.02の時点で有効なIPCを表示します。

●検索条件: 再検索する場合はキーワード、サーチ範囲を入力し(いずれか一方でも可)、検索ボタンをクリックして下さい。詳細な入力方法はヘルプを参照して下さい。

キーワード FI FIハンドブック

入力例 農業、機械*金属、土壌*(水+液状) IPC第8版(日付指定) [20110302]

AND

サーチ範囲 検索 クリア

(分類コード) Fタームリスト

入力例 A61K, A61K6, A61K.ADB, C08L27/06, C09K3/14.510

●検索結果 ヒット件数 7件(1-7件目を表示中)

・表示種別を変更する場合は表示種別を選択後、サブグループをクリックして下さい。表示種別の違いはヘルプを参照して下さい

表示種別 一覧表示 ターゲット表示 同階層表示

- A61B 診断; 手術; 個人識別(生物学的材料の分析G01N, 例, G01N33/48)
- A61B10/00 他の診断法または診断機器, 例, 診断ワクチン接種用機器; 性の決定; 排卵期の決定; 咽喉をたたく器具[4, 8]
- A61B17/20 ワクチン接種のためのものまたはワクチン接種に先だって皮膚を清浄するためのもの(注射装置A61M3/00, A61M5/00)
- A61D1/02 乳頭用套管針または管針; ワクチン接種用器具
- A61K 医薬用, 歯科用又は化粧品用製剤(薬物を特定の物理的または投与形態に変化させるのに特に適合した装置または方法A61J3/00; 空気の脱臭用品, 殺菌または消毒用品, あるいは包装, 被覆用品, 吸収性パッド, または手術用品のための物質の使用又は化学的事項A61L; 石鹸の組成C11D)
- C12N1/00 微生物, 例, 原生動物; その組成物(原生動物, バクテリアまたはウィルス起源の物質を含む医薬品製剤A61K35/06; 藻類起源の物質A61K36/02, 菌類起源の物質A61K36/06; 医薬品細菌抗原または抗体組成物の調製, 例, 細胞ワクチン, A61K39/00); 微生物またはその組成物の増殖, 維持, 保存方法; 微生物を含む組成物の単離または調製方法; そのための培地[3]
- C12N7/00 ウィルス, 例, バクテリオファージ; それを含む組成物; その調製または精製(ウィルスを含む医薬品製剤A61K35/76; 医薬用ウィルス性抗原または抗体組成物の調製, 例, ウィルスワクチン, A61K39/00)[3]

キーワードを入力して、IPCやFIを検索することができますが、IPCやFIの表の中間一致検索です。表示されたものの中から、適切なものを選ぶ必要があります。ここでは、キーワード“ワクチン”で検索した結果を表示していますが、この中では一番下のC12N7/00が先の検索には適当と思われます。

26

特許分類による検索例(1)

公報テキスト検索

メニュー
ニュース
ヘルプ

●公報種別

公開特許公報 (公開、公表、再公表)
 特許公報 (公告、特許)
 和文抄録
 公開実用新案公報 (公開、公表、登録実用)
 実用新案公報 (公告、実用登録)

節足動物 マラリア等のキーワードの代わりに、IPCの C07K14/445を用いて検索します。

全角の場合は100文字以内、半角の場合は200文字以内で検索条件および検索除外条件を入力してください。検索項目毎の入力方法はヘルプを参照してください。

検索項目選択	検索キーワード	検索方式	検索項目選択	NOT検索キーワード	検索方式
IPC	C07K14/445	OR	要約+請求の範囲		OR
AND			AND		
要約+請求の範囲	医薬品 薬剤 ワクチン	OR	公報全文(書誌を除く)		OR
AND			AND		
要約+請求の範囲		OR	IPC		OR
AND			AND		
出願人/権利者		OR	出願人/権利者		OR
AND			AND		
公報発行日		OR	公報発行日		OR

検索項目追加

●表示形式 項目/レイアウト表示 PDF表示
 一覧表示(ヒット件数1000件以内の時に表示可能です)。
ヒット件数 48件

検索除外条件はNOT検索キーワード欄に入力してください。

29

特許分類による検索例(2)

ヒット件数 48件

項番	公報番号	発明の名称	出願人(登録公報・US和抄は権利者を表示)
1	特開2008-271958	マラリア・プラスモジウム抗原ポリペプチドSE36変異体、その精製方法、並びにこれより得られる抗原を用いるワクチン及び診断剤	財団法人大塚微生物病研究会 他
2	特開2007-209343	マラリア原虫由来のCSおよびHBsAg間のハイブリッド蛋白質	グラクソスミスクライン・バイオロジカルズ・ソシエテ・アノニム
3	特開2006-180865	マラリアペプチド	オクノン・セラピューティクス・リミテッド
4	特開2005-295801	電子伝導剤、DNA、アピコンプレキサン類原虫のアピコプラスト由来フェルドキシンの製造方法、フェルドキシンの結晶、及びフェルドキシンの活性阻害の測定方法	財団法人大塚産業振興機構
5	特開2004-344105	ネズミマラリア原虫由来のPbsp1蛋白質、当該蛋白質をコードする遺伝子	三重大学長
6	特開2002-371098	マラリア感染診断材及びマラリア原虫の増殖を抑える免疫用抗原	日本原力研究所
7	特開平07-170995	ポリペプチドの調製方法	スミスクリライン・ベックマン・コーポレーション
8	特開平07-039379	新規ハイブリッドポリペプチドをコードするDNA配列	カイロンコーポレーション
9	特開平06-225789	熱帯熱マラリア原虫に対する改良された抗体	ベクトン・ディッキンソン・アンド・カンパニー
10	特開平06-189772	原虫類ワクチン用抗原ペプチドおよびこのペプチドを含有するワクチン	ザ ウェルカム ファウンデーション・リミテッド
11	特開平06-141868	熱帯熱マラリア原虫の血液段階における抗原、その製造および使用	ベーリンゲルケ、アクチエンゲゼルシャフト
12	特開平06-121688	マラリア抗原HRPIIおよびSERPの部分配列を含む、防衛的熱帯熱マラリア原虫ハイブリッドタンパク質、その製造および使用	ベーリンゲルケ、アクチエンゲゼルシャフト
13	特開平06-086679	プラスモジウム・スポロゾイト抗原	エフ・ホフマン・ラ ロシュ アーゲー
14	特開平06-073097	マラリアワクチン	スミスクリライン・ベックマン・コーポレーション 他
15	特表2010-535836	ワクチン	グラクソスミスクライン・バイオロジカルズ・ソシエテ・アノニム
16	特表2010-510767	抗原およびアジュバントの多量体複合体	イマクシオ
17	特表2010-502658	特にワクチンに適用される外来分子の提示のための分割コア粒子およびそれらの産生方法	ウニヴェルシテートクリニクム フライブルグ
18	特表2009-543846	マラリア用ワクチン	グラクソスミスクライン・バイオロジカルズ・ソシエテ・アノニム 他
19	特表2009-543569	マラリア用ワクチン	グラクソスミスクライン・バイオロジカルズ・ソシエテ・アノニム 他
20	特表2009-541373	タンパク質断片又はペプチドカケルとして送達される抗原を用いたワクチン接種によるサブドミナントエピソードを含むT細胞レパートリーの拡大	ステイテンス・セルム・インスティテュート
21	特表2009-517016	組換え熱帯熱マラリア原虫(Plasmodium falciparum)ノロサイト表面タンパク質4および5およびこれらの使用	アンステイチュート・バスターホル 他
22	特表2008-544969	抗マラリアワクチン	グラクソスミスクライン・バイオロジカルズ・ソシエテ・アノニム
23	特表2008-516926	マラリア初回免疫/追加免疫ワクチン	クルセル・ホランド・バー・ヴェー 他
24	特表2008-504005	熱帯熱マラリア原虫(Plasmodium falciparum)のLSA-5肝臓期および血中中期抗原、この抗原を含有する免疫原性組成物、およびマラリアに対するワクチン	インスティテュート・バスターホル
25	特表2007-528210	C4bpAタンパク質及び単量体抗原を含む生成物及びその使用	アヴィディウス・エス・アー
26	特表2006-512926	マラリア・ワクチン	スターテンス・セルム・インスティテュート
27	特表2005-523908	抗原および診断としてのその利用を以てマラリア原虫種に対するワクチン	ザ ユナイテッド・ステイツ・オブ・アメリカ・アズ・レプレゼンテッド・バイ・ザ・セクレタリー・オブ...
28	特表2004-535171	レプリキンペプチドおよびその使用	ボゴーク、サミュエル 他
29	特表2004-533421	T1免疫応答とT2免疫応答との間で調節するためのワクチン	バイオミラ、インコーポレイテッド
30	特表2004-520277	胞子虫綱(apicomplexan)寄生虫からの細胞侵入因子に基づくワクチン	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン

C07K14/445を用いた検索結果。ヒット数48件。興味ある検索結果が得られています。

キーワードだけの検索結果と一緒に内容を確認します。

30